

日交研シリーズ A-742
平成 29 年度自主研究プロジェクト
「地域公共交通網形成の計画スキームに関する研究」
刊行：2019 年 2 月

自治体の地域公共交通網形成計画に関する研究
A Study on the Local Public Transport Network Plans

主査：寺田 一薫（東京海洋大学教授）
Kazushige TERADA

要 旨

わが国では 2014 年から、国土交通省の主導する地域公共交通網形成計画制度によって、市町村等に乗合バスを中心とした公共交通計画の策定を促した。対応したマスタープランと実施計画を策定すると、国の補助・出資などの便宜が与えられる。この便宜はわずかなものであるが、これまで関係の制度が貧弱すぎたこともあって計画策定を行う市が 100 以上に上っている。

だが、当該制度をめぐっては政策代替案が示されていないこともあり、当該制度を過度に肯定化し、過剰な期待を寄せるケースが多くなっている。計画の策定自体を努力目標としているだけのため、どのような内容であれ計画を策定さえすれば複雑な地域交通の問題が解決するかのような計画至上主義も起きている。また、特定の LRT (Light Rail Transit)、BRT (Bus Rapid Transit) 路線の建設自体が目的化した計画も存在する。その一方で、岐阜市や富山市など、従来からの幹線バス、LRT 計画を土台に、現実的なコリドー中心の計画を策定・実施する地方中核都市も出現し始めている。

そこで本研究では、これらの政策の背後にある理念を検討する。そして、市町村を中心とした自治体の地域交通計画策定スキーム（地域公共交通網形成計画等）についての最適な制度設計の探求に向けて、ベースとなるアクセシビリティ理論についての政策活用の可能性や限界の整理、ならびに関連する周辺的問題について整理する。

キーワード：地域公共交通網形成計画、地方自治体、バス、LRT、時刻表、海上交通

Keywords : Local Public Transport Network Plan, Local Authority, Bus Service,
Light Rail Transit, Timetable, Maritime Transport